

- 1 全日制の学校説明会について、授業公開・体験授業や、吹奏楽局の歓迎演奏、音楽部合唱による校歌紹介等と盛りだくさんである。先生方は準備で大変と思うが、内容がとても充実している。実施後は、アンケートや本校生徒からの意見等をもとに改善していただきたい。
- 2 学校説明会について、事前に各中学校から要望を聞き、内容に反映させていくことをしてもよいのではないか。また、学校校紹介ビデオは、DVDにして希望者に渡すとか、希望の学校に送付するなどのことをしてはどうか。
- 3 東高は、学校説明会をしなくても一定の生徒が入学してくるはず。それをあえて行うというのは、学校の情報を公開し、正しく知ってもらうと同時に特徴のある教育活動や特色をアピールする場を持つという点で、社会的な責任を果たしていると言える。
- 4 授業公開・体験授業や部活体験・見学メニューは、面白そうだし、中学生に向けデモンストラーションになっている。また、全体会では司会進行が生徒により行われたり、吹奏楽局の演奏等があったりと、生徒が主役の印象でとても素晴らしいことと思う。
- 5 掲示板等に誹謗中傷の書き込みをし、学校で事情を聞かれた生徒がその後飛び降りをするなどの事故が稚内商工高校と富良野緑峰高校で立て続けに発生したことに驚いている。生徒への接し方が大変になっているのだと感じる。
- 6 定時制に入学してくる生徒は、勤労青少年という以前の姿から大きく変わり、不登校歴等様々な状況を抱え切迫していることがわかった。特に心の病を抱えている生徒については、何かそれに対応するための組織や機関が必要となっているのではないか。
- 7 全日制では、高校進学後に学習成績上の悩みなどから精神的に不安になる生徒が出ているのではないか。その場合教育相談等の対応となると思うが、全日制と定時制でノウハウの交流を行ってはどうか。より適切な対応が可能になると考える。
- 8 いわゆる医進類型指定校については、旭川医大はせっかく地元にあるのだから、医大進学希望者を定期的に見学に行かせ、雰囲気味わせるとよい。その気になり、合格しやすくなる。また、北大医学部や札幌医大はもちろん道外の医大も挑戦させるべきである。
- 9 医学部出前講義やメディカル・キャンプ・セミナーなど、医科大学等と連携した積極的な取組が行われていることが良く理解できた。今後は、進路実績からみて実効あるものかどうか検証し、改良しなければならない点は改善を図っていく必要がある。
- 10 東大突破ツアーについても、直接大学の空気を吸ってくるのはとても良いことである。東大に本校卒業の教官がいるのはとても心強い。また、大学進学については、東高が中心となって実績をあげ、同時に管内他校も牽引してもらいたい。

- 11 旭川医大との高大連携事業の中で、医学科志望者がグループをつくって医療に関する課題を設定して調査し、その後旭川医大を訪問して医師や医大生の前でプレゼンとグループディスカッションを行う活動は、すごく良いと思う。
- 12 自らの人生設計の中で医者を選んだ生徒が、今回のように医大でプレゼンやグループディスカッションといった活動を行うのは、従来の進路指導の枠を越えていると思う。受け身ではなく自ら活動し経験しながら進路学習する点でこれまでとの大きな変化を感じる。
- 13 単に偏差値等で進学先を決めるのではなく、将来の職業について志望の動機がはっきりしていて、そのために何を学びたいかということが大切である。大学に合格することや就職がゴールではない。そこから何をしたいのか、生徒に深く考えさせる指導をお願いしたい。
- 14 センター試験だけで進学した大学では、退学する学生が多い。これは、進学決定だけが目的で、その先を考えていなかったためと言われている。進路を考える時、大いに迷うことも大切。本校で進路選択のための様々な仕掛けが用意されているのは意義深い。
- 15 高大連携における生徒の活動は、進路学習としてとても意義があり、これから広く行われるべきと思う。医大だけではなく、教育大などとも連携してはどうか。また、課外活動としてではなく、教育課程の中に位置付けても良いのではないか。
- 16 東大突破ツアーのように、希望者が大学の空気を吸うのはすごく効果的なことである。大学の講義に参加し、東高出身の教官の話を聞いたり東高出身の学生と一緒に食事をする中で東大が身近なものになるのは、受験勉強をする上で大変プラスになると思う。
- 17 東大突破ツアーのように実際に進学先や就職先を体験する活動として、裁判所を見学することも考えてはどうか。東高出身に弁護士も多くおり、その弁護士に引率してもらって裁判の傍聴や職務の見学等を行うのも効果的であると思う。
- 18 本校における進路指導の緻密さに驚いた。1年次から生徒のモチベーションを高める仕掛けが行われていて、昔と比べて考えても素晴らしいことと思う。東高の先生方のご苦労も大変とお察しするが、その分生徒のためになっているはず。心から敬意を表したい。
- 19 定時制生徒にとって、バランスのとれた温かい給食をとれることは、ともすれば社会人の誰もが不規則な食生活になりがちなか大切な事だと思う。また、「マイはし」などは、社会性を身に付けさせる上でとても良い指導と思う。
- 20 今の企業が大学にもとめているのは「人格の育成」である。これは高等学校教育にもいえると思う。全日制・定時制ともに、教科の指導の充実はもちろんであるが、学校行事その他の場面で生徒の人格の育成を心掛けてほしい。